

令和八年 南宗寺茶会

—南宗庵草創500年に寄せて

お申込



利休好と伝わる二畳台目の茶室「実相庵」の外観。
当日は、道具を設えた状態で、ご覧いただくことができます。

11月1日(日)・2日(月)

千利休、武野紹鷗、津田宗及ら、茶の湯の礎を築いた茶人たちが参禅した南宗寺は、堺の茶の湯文化と深く結びついた禅刹です。前身・南宗庵の建立より五百年の節目にあたる今年、古獄宗巨・大林宗套ゆかりのお道具を取り合わせ、この地ならではの茶会を催します。

席主

濃茶席 田島碩應老師

(吉田宗皎[裏千家淡交会堺支部参与])

薄茶席 太田宗宝

[裏千家淡交会堺支部参与]

会費 40,000円(税込)

定員 15名(1席)

席入 1席目 10:00 2席目 11:00

3席目 12:00 4席目 13:00

5席目 14:00

※ご希望の席をお選びください

内容

濃茶席／本堂広間

展覧席／実相庵

薄茶席／客殿

点心席／本堂広間

(日本料理 味所望)

墓参／千利休一門の供養塔・

武野紹鷗の供養塔

境内自由見学／

重要文化財 山門(甘露門)・

唐門・仏殿会場 南宗寺

会場 龍興山 南宗寺(大阪府堺市)

※現地集合・現地解散となります

※アレルギーのある方は必ずご予約の際にお知らせください

【ご宿泊について】前日ご宿泊希望のお客様向けに、ホテルアゴーラリジェンシー大阪堺のお部屋を確保しております(部屋数には限りがございます)。お申込み後に詳細ご案内申し上げますので、お電話にてお問合せください。(9月末まで)

茶の湯文化が息づく堺の地で、茶事にも親しまれる料亭「味所望」の点心 ※イメージ



秋深まる尾張の茶会

—玄々斎に想いを重ねて

お申込



12月5日(土)・6日(日)

席入 1席目 9:30 2席目 10:30

3席目 11:30 4席目 12:30

5席目 13:30

※ご希望の席をお選びください

会費 32,000円(税込)

定員 15名(1席) 席主 神谷宗銀

会場 昭和美術館(愛知県名古屋市)

内容

濃茶席(展覧席)：南山寿荘 2階書院

薄茶席：有合庵

点心席(日本料理 須多)：別館

特別見学：南山寿荘内茶室「捻駕籠席」

展示鑑賞 令和8年下期展

「舶来と日本の茶陶」(自由見学)

紅葉にうつもれた南山寿荘池越の風景



紅葉深まる尾張・名古屋の地にて、百五十年忌を迎える玄々斎精中の遺風に想いを寄せる茶会を催します。

玄々斎は三河に生まれ、明治維新という激動の時代にあって茶の湯の道統を守り抜くとともに、西洋文化が流入し近代化へと向かう社会の中で茶の湯を総合文化として広く世に示し、日本の伝統文化の価値を確立する礎を築きました。

茶道の国際化に尽力された鵬斎宗匠も、自らの手記において深い敬意をもって玄々斎に言及されています。

席主は同じく三河にゆかりを持つ名古屋の茶道家、神谷宗銀氏。会場を玄々斎の実兄・渡辺又日庵ゆかりの茶室を有する南山寿荘(昭和美術館)とし、皆様をお招きいたします。

三河に発し、尾張の地に今もなお息づく玄々斎の茶の湯の遺響をご堪能ください。



南山寿荘二階書院。玄々斎好の扇面散らしの欄間が見られる



地元の食材を活かした茶事の懐石にも定評がある須多の点心 ※イメージ

※各席とも「薄茶席→濃茶席→展覧席→捻駕籠席 見学→点心席」の順にご案内いたします
※現地集合・現地解散となります ※アレルギーのある方は必ずご予約の際にお知らせください

席入 1席目 9:00 2席目 10:00

3席目 11:00 4席目 12:00

5席目 13:00 6席目 14:00

※ご希望の席をお選びください



「MOSS KOGEI Kyoto 2026」はしょうざんリゾートの広大な敷地の全面にわたって開催される(一部は俯瞰図の他のエリアもあり)



内容 濃茶席(聴松庵)

薄茶席(玉庵)

点心席(峰玉亭/料理:たん熊北店)

席主 飯島宗照

定員 各席 8名

参加費 49,000円(税込)

※参加費には「MOSS KOGEI Kyoto 2026」

入場料[5,500円(税込)]を含みます

会場 しょうざんリゾート

(京都市北区衣笠鏡石町47)

アクセス:京都市営地下鉄「北大路駅」より送迎バス運行予定(詳細はQRコードより淡交カルチャーホームページをご参照ください)

茶室「玉庵」(薄茶席)

茶室「聴松庵」(濃茶席)



光悦憧憬—工芸を愛でる茶会

～玄々斎ゆかりの茶室にて～

お申込



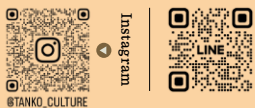
10月17日(土)・18日(日)

光悦がひらいた芸術村のあった京都・鷹峯を舞台に開催される秋の工芸イベント「MOSS KOGEI Kyoto 2026」にて、特別茶会を催します。茶会には、本イベントのために選抜された現代の工芸作家による茶道具が集い、茶席や展覧席で共演をいたします。

茶会会場は「しょうざん」の静謐な苔庭に佇む茶室「聴松庵」と「玉庵」です。

とくに「聴松庵」は、本年百五十年忌を迎えた玄々斎精中の設計と伝わる由緒ある茶室です。茶室建築家・飯島宗照先生が「聴松庵」の歴史を紐解き、玄々斎の意匠の魅力を解説しながら、濃茶でおもてなしを致します。また「玉庵」では、「伝統と創造」をテーマに一服の薄茶を楽しんでいただきます。さらに「峰玉亭」では、玄々斎による明治5(1872)年の茶事の記録をもとにした、たん熊北店謹製の点心をお楽しみいただけます。

茶会の他にも「MOSS KOGEI Kyoto 2026」で行われる工芸の展示・販売、トーク、ワークショップなど、様々なイベントが開かれます。秋の盛大な文化イベントをご堪能ください。



*税金や表示されている時刻や情報は2026年7月現在のものです *変更になることもございますので、最終（確定）書面にて必ずご確認ください。

【お問い合わせ・お申し込み】（お電話受付時間 平日9:00～17:00）
Tel 075-432-4090 Fax 075-432-0850
株式会社淡交社 文化事業部 〒603-8588 京都市北区堀川通鞍馬口上ル

Tanko Culture Guide mini KYO TO
株式会社淡交カルチャー | 京都府知事登録 旅行業第2-549号 | (一社) 全国旅行業協会 正会員

2026. 9

ツアー

大人のプレミアムツアー 武家女性の装いにみる 刺繍文化——桃山の美を訪ねて

お申込



長艸繡巧房 宝尽し

内 容 9:15…JR京都駅八条口
アバンティ前バスプール 集合

長艸繡巧房

一般非公開の工房に特別にお入りいただき、安土桃山期に花開いた刺繍文化を今に伝える京繡について、長艸家三代目よりその歴史・技法・意匠の魅力をご解説いただきます。

昼食 懐石 近又

享和元年創業の老舗・近又にて季節の懐石を。静けさと品格をたたえた空間で、上質なひとときをお過ごしいただけます。



お料理 ※イメージ

京都国立博物館

館内講堂を貸し切り、特別な解説を。展示室では語られない意匠の深層を、桃山期の染織美術史を専門とする研究員が読み解きます。



山道に菊桐文と枝垂桜文様段替り唐織小袖 ※イメージ

高台寺

北政所ゆかりの茶室「湖月庵」にて、通常非公開の復元小袖を特別に拝見。呈茶とともに、桃山の女性文化の余韻を味わいます。その後は、開山堂など境内を自由に拝観いただけます。



縫箔 白地雪持柳扇面肩裾模様 ※イメージ

17:30…JR京都駅到着後、解散

10月27日(火) 日帰り

桃山時代の武家の女性たちの装いにおける金糸や絹糸が織りなす小袖の意匠は、単なる装飾ではなく、当時を生きた女性たちの感性を今に伝えています。本ツアーでは、武家女性の装いに色濃く宿る桃山文化の美意識に迫ります。京繡の工房、博物館、北政所ゆかりの地。普段は立ち入ることのできない場所をめぐりながら、ひとつの時代に花開いた文化の奥行きを、心ゆくまでご堪能ください。

会 費 45,000円 (税込)

定 員 15名 (最少催行人員10名・添乗員同行)

※アレルギーのある方は必ずご予約の際にお知らせください
※ツアー中は貸切バスで移動いたします

ツアー

石清水八幡宮献茶式特別参列と 松花堂昭乗の 足跡に触れる日帰りツアー

お申込



ダミーダミーダミー



松花堂庭園・美術館 草庵・松花堂

松花堂弁当



徳岡邦夫氏

10月6日(火) 日帰り

石清水八幡宮は、貞観元年（859）に創建され、伊勢神宮と並び皇室からも篤く崇敬を集める古社です。現存最古かつ最大規模の八幡造による本殿をはじめ、荘厳な社殿群は国宝に指定されています。男山の豊かな自然に包まれた神域にて、裏千家ご奉仕による献茶式に参列。同宮社僧の松花堂昭乗の足跡にも触れていただく日帰りツアーです。

会 費 60,000円 (税込)

定 員 18名 (最少催行人員15名・添乗員同行)

※ツアー中は貸切バスでの移動になります。※献茶式参列中は立ち見の可能性がございます。※松花堂庭園・美術館での企画展展覧はございません。草庵茶室「松花堂」の内部は外からの拝観となります。※写真はイメージです

内 容 8:00…JR京都駅八条口
アバンティ前バスプールご集合

石清水八幡宮献茶式 特別参列

- 今日庵席 社務所書院
- 副席 (淡交会 京都南支部) 会館広間
- 立礼席 (淡交会 京都西支部) 会館ホール

吉兆松花堂店 ● 昼食 (松花堂弁当)

- 講話: 京都吉兆 総料理長 徳岡邦夫氏
「松花堂弁当のルーツと松花堂昭乗」

松花堂庭園・美術館

- 茶室「松隠」にて館長 平井俊行氏講話
- 庭園ツアー (草庵茶室「松花堂」拝観)

古曽部焼窯元

- 寒川義崇氏のお話と作品鑑賞

17:30…JR京都駅到着後、解散

講習会

茶の湯がもっと面白くなる和歌の世界 和歌に学ぶ

お申込



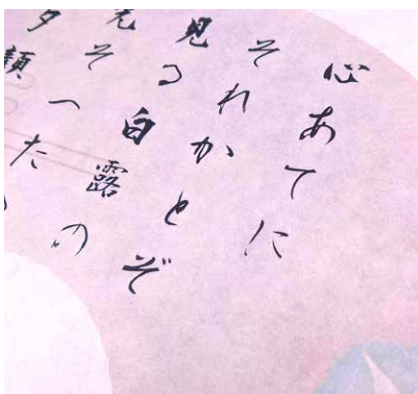
11月11日(水)

茶の湯において、和歌は掛物や道具の銘などに用いられ、日本人が大切にしてきた四季の情景や自然へのまなざし、繊細な心の動きが、美しい大和言葉で表現されています。

本講座では、和歌に込められた思いや美意識を味わいながら、その基礎をわかりやすく学びます。和歌を知ること、掛物や道具への理解が深まり、茶の湯の世界をより身近に感じていただけるでしょう。

講師が丁寧に指導いたしますので、和歌に初めて触れる方も安心してご参加いただけます。唱和之式や香付花月にも活かすことができ、茶道を嗜まない方も歓迎です。

31文字 (みそひともし) に込められた、美しい大和言葉の世界に触れてみませんか。



時 間 午前のクラス 10:00～12:30

午後のクラス 13:30～16:00

※ご希望のクラスをお選びください

講 師 藤井宗文

定 員 15名 (各クラス)

会 費 9,000円 (税込)

会 場 淡交社 京都本社
第2ビル (第1教室)

※同日開講の特別講習会「手の習い“壺莊”」とあわせてお申込みいただくと、どちらか一方を8,000円にてご受講いただけます

～昨年の受講者の感想～

お軸の和歌を見るたび意味が分からず、和歌は難しいと思っていました。先生のお話がとてもおもしろく、分かりやすく和歌が身近に感じられ、茶会の楽しみが増えました。

講習会

土楽窯八代目・福森道歩氏に学ぶ 土鍋料理会

お申込



11月3日(火祝)・4日(水)

土鍋を生む手が、料理をつくる。三重・伊賀の窯元「土楽」八代目当主であり、料理研究家でもある福森道歩氏をお招きして、秋の土鍋講習会を開催します。

テーマは新米と秋の茸。土鍋で炊いたご飯の煮えばなを味わうところから始まり、懐石にも転用できるおかずや椀種のアイデア、おつまみを一緒に作ってご賞味いただきます。少人数だからこそ生まれる、土鍋をめぐる豊かな時間をお楽しみください。



当日は福森氏の土鍋・器の販売もご紹介します。

土楽窯の土鍋

内 容

- 新米の炊き方 煮えばなの見極め
- 味ご飯 生姜ごはん
- 混ぜご飯 マッシュルームの混ぜご飯
- 懐石転用おかず きぬかつぎ／合鴨コース
- 土鍋でおつまみ じゃこミックスナッツの山椒炒め
- 椀種 すぐきと豚団子

※アレルギーのある方は必ずご予約の際にお知らせください



時 間 午前の会 11:00～14:00

午後の会 15:00～18:00

※ご希望の日と会をお選びください

講 師 福森道歩

伊賀・土楽窯八代目当主。江戸時代から続く窯元土楽を継ぐ傍ら、料理研究家として活躍。著書に「小鍋でつまみ」(東京書籍) 他三冊。



福森道歩氏

定 員 8名 (各会)

会 費 10,000円 (税込) お土産付き

会 場 淡交社 京都本社
第2ビル (第1教室)

10/26(日)～11/4(水)の期間、当社ギャラリー(京都店)にて「伊賀week」(仮題)を開催予定です。福森氏をはじめ、伊賀の窯元が大集合。是非お立ち寄りください。(11/1(日)は休業となります)